時事新報

警察の方針

警視總監三嶋通庸氏は今春來病氣に罹り療養怠りなかりしかど天假すに壽を以てせず遂に一昨廿三日死去せり年五十四年を一期として卒去したり氏は明治の功臣にして人となり剛毅果斷その曾て東北地方に長官たりし頃も人の容易に施し難きを斷行して往々世間の耳目を驚かしめたるの事跡少なからず轉じて警視總監の任に當りて後も警察事務の能く嚴重に行屆きたるは皆人の知る所にして其形迹は樣々なれども深く氏の心事を敲けば皆是れ帝室の尊嚴を護り社會の公安を保たんが爲めなるべし其心懸け天晴にして洵に國の貢たるに愧ざるなり然るに顧みて世の有樣を視察すれば國會の開設も今後僅に一年少餘を殘すに過ぎずして民間にても彼是國事に忙はしき時節なれば警察の方針も亦之と共に一變せざる可らず蓋し警察の事務を類別すれば政事上の警察と人事上の警察と二者ありて今後の方針は寧ろ人事上に緻密なるべきも政事上に寛大ならざる可らざるは言を俟たざる所なれば三嶋總監の心事を演繹するに斯くして漸く政事警察の筆法を和らげ人心を鎮慰して帝室の尊嚴を護持せんと欲せしならん聞く處によれば氏が臨終の際にも唯廿三年〳〵と唱へて前途警察の方針に付き大に苦慮するものゝ如くなりしといふ其意蓋し此邊に在るか左れば新たに警視總監の任に當るものは能く此意を體して事務を繼承し故三嶋氏をして地下に瞑目せしめん事を勉めざる可らず思ふに今後政界の騷立つと共に數人相集まりて談合をなすが如きは決して珍らしからぬ事となるべければ中に朝憲を紊亂し人心を攪擾せんとする者若くは陰謀を企てゝ爆裂藥を裝置する樣の輩は固より之を嚴罰に處す可きなれども單に政治を談論し異説を獻替する者までも影を逐ひ跡を尋ねて物々しく取締を施すなどは殆んど益なきのみならず之が爲め却て世の公安に不利なきを期す可らず氏の素志にあらざるや明なり如何となれば氏が心事は帝室の尊嚴を護り社會の公安を保たんとするものにして其公安は即ち帝室を安くするの根本なればなり故に我輩の所望を云へば此公安保護の旨を擴めて人間日常の細事に及ぼし強暴を壓し小弱を扶けて放火盜賊の取締は勿論溝瀆に老婆の倒るゝを救ひ路傍に小兒の迷ふを助くる等只管人事警察の行屆かんことを願はしけれ即ち警察の本色にして其効用の廣く且つ大なるものと云ふ可し昨年の十二月には保安條例實施の事ありて數百の人々は東京退去を命ぜられ物情甚だ騷然たりしが昨今は追々歸參を許さるゝ者あり、三嶋警視總監の主意は此一事によりて推測するも稍やその方針を窺ふに足るものあれば是れより着々政事警察の範圍を縮め今年の十二月には全く昨年と反對の趣向に出でんと我輩の今より樂んで見んと欲する所にして故總監をして世に在らしむるも其變通の方針は必ず此の如くある可しと斷定せざるを得ず蓋し總監その人は假令へ同一なるも我社會の事情は昨年と今年と同一ならざればなり

電報

○王儲公爵夫人　仙臺十月廿四日午後特發
王儲公爵夫人は本日歸京の途に就きたり

○通常縣會　仙臺十月廿四日午後特發
二十二年度の宮城縣通常縣會は來月十五日より開會の筈にて常置委員は本日より既に該豫算議案の調査會を開きたり

○官海の小變動　長野十月廿四日午後特發
本日當長野縣に於ては收稅、警察、監獄中に小改革を行なひたり

○文部大臣及び同視學官　秋田十月廿四日午後特發
本日森文部大臣は當秋田縣廳に至りて各課を巡視し又廳下の各小學校を巡覽し夫より寺内師範學校に赴き師範學校及び各種學校の聯合よりなる學生運動會を見物し又同秘書官兼視學官久保春景氏は唯今(十二時三十五分)當地に來着せり

○兵庫明石間の線路檢査濟　神戸十月廿四日午後特發
山陽鐵道第一區なる兵庫明石間の線路檢査は故障なく濟みたりしが只垂水村の瀧ノ茶屋前の山崖削取に付少しく不充分の所あれば同會社にては直に削取り工事に着手し愈々十一月一日より開業を爲す事に決し同副社長村野山人氏が上申書を携へ本日上京せり

○鹽田諮問會　神戸十月廿四日午後特發
井上農商務大臣の鹽田諮問會は來る廿六日より當縣廳に於て開會する筈なり

○捕鯨會社の祝宴　高知十月廿四日午後特發
今般捕鯨業保護の爲め捕鯨に要する船舶、網、銛、家屋、地所其他附屬品一式に雷電艦を添へ何れも無代價を以て本日土佐捕鯨會社へ拂下となりたるに付高知縣知事時任爲基氏は將來同事業維持の方法等を訓示したり右に付同會社にては大祝宴を催ほす事に決し平松與一郎氏は昨日安藝郡の捕鯨場へ出張したり

○獨逸皇帝　倫敦十月二十一日發
獨逸皇帝は伯林に向け伊太利を發せられたるが大に同國人の歡心を得られたり

○炭坑夫の罷工　同上
英國に於ては炭坑夫一般に罷工を企てり　(ジャパン メール)

宮廷錄事

○觀兵式行幸　來る十一月三日天長節に付午前八時三十分御出門青山練兵場へ行幸觀兵式を行はせらるゝ旨一昨廿三日仰せ出されたり最も前日大雨當日微雨なれば其式は行はせられざるよしなり

○樞密院臨御　聖上には昨二十四日午前十一時四十分樞密院へ臨御午十二時廿分入御午後一時半更に臨御四時過入御在らせられたるよし

○天長節御祭典　來る十一月三日例年の通り宮中に於て天長節の御祭典を行はせらるゝよし

○宮中宴會　來る十一月三日天長節に付宮中に於て宴會を行はせらるゝに付ては親王始め勅任官以上麝香間祗候各國公使等當日午前十時四十分參内のよし

雜報

○樞密院會議　は昨日も午前十時頃より伊藤議長其他各顧問官出頭して會議を開き聖上にも臨御在らせ給ひ三條内大臣黒田大隈兩大臣にも參列し午後五時過閉會せりと

○保安條例廢止の意見　昨今其筋にて保安條例を廢止することを主張する意見あるよし過日の紙上に記載せしが此の意見につき評議ありし處中々盛んなる議論ありて未だ何れに決すべくとも見定め付かずと云へり

○東京商工會へ達　昨廿四日午後東京府廳より東京商工會正副會頭へ宛東京市區改正委員會臨時委員を差出す可き旨達したりと

○五錢貨幣　昨今元老院にて評議中なるニッケル五錢貨幣條例案は全部調査委員を撰びて之れに全部を調査せしむることゝなりしよし

○神戸居留地に關する件　鳩山外務取調局長は神戸港居留地に關する事件にて同港へ出張し其取調べを畢りさる去る十八日歸京したるが右の件に付目下内閣に於て評議中のよし尤も模樣に因りては内海兵庫縣知事へ訓令を下すか然なくば鳩山氏が再度出張する事に至るならんと

○醜辱事件の再燃　一時世上の一問題となり間もなく立消の姿と變じ終に泣寐入りの模樣を示したる英國商船マルワ號の船員某の爲め醜辱を受けたりと云ふ兵庫縣平民磯田喜代松夫婦は昨廿四日横濱の代言人岩川廣濟氏を代人として實兄磯田治兵衞に對し私印私書僞造の告訴を爲したりと云ふ其次第を聞くに去る七月廿六日の夜同船が神戸港に碇泊中其船員の爲め辱めを受けたりとて直ちに神戸警察署へ強姦の告訴を爲したれども同船は其夜横濱に廻航せしかば同人夫婦も又横濱に來り此事件を飽く迄仕遂ぐる筈なりしに横濱より兄治兵衞の許に寓居して當時の實況を追想すれば一時の憤怒に深き思慮をもなさゞりしかば事實は強姦未遂犯なれ共告訴は強姦已遂の趣を認めたるのみならず訴訟の費用も中々容易に非ずとて一時右事實と訴目との相違を申立て一應願下けを爲し置き追て其用意を整へたる上相當の處分を爲す心得にて一先東京に來りたり築地邊に奉公し居たる中九月の中旬頃に至りしが其頃兄の治兵衞より彼のマルワ號事件に付船員より證明書を出し呉れよとのことなるが其許の意見は如何との話を聞きしも其際證明書とは如何のものなるや又其文面は如何樣とのこともなかりし爲め格別意に留めず其儘打過ぎたる處同月下旬に至り東京の各新聞紙に礒田喜代松より證明書を出したり詫書を差入れたりとの記事ある趣にて頻りに風説するより奉公先にても居たゝまらず兎に角兄の許を訪ふて事實を取調べんものと又横濱に至りたるは同月廿六七日頃の事なるに兄の治兵衞は茲に初めて事情を打明け自分の取計らひにて證明書を差出したる始末を言ひ出したれば喜代松夫婦は案外なるに驚き辱めを受けたる上に猶詫書同樣なる證明書を差出すは實に恥辱の至りなれど此證明書は自分の承諾せしものにあらざるのみならず役場へ立會はず調印せしこともなく又兄治兵衞へ依頼せし覺えもなければ全く兄治兵衞等の私印私書を僞造したるに相違なし就ては先づ此僞造罪を訴へて證明書の不正を明にし更らに加害者に對し未遂犯の告訴を爲さんとて斯くは先づ兄を告訴したるものなりと云ふ

○長崎に於ける佛國水兵の暴動　去る十六日長崎に於て佛國水兵數名が亂暴を働き其中一人は死に至りたる旨は電報の儘記し置きしが今其詳報に接したれば當日の模樣を記さんに去る十六日午後八時頃同港碇泊中の佛國軍艦の水兵七名上陸して涙ノ平町なる遊廓に徘徊し居たるが其中三名は同町貸座敷大嶋屋に他の三名は小川屋に登りたるが小川屋に登りたる者の中一名は娼妓の來らざるより頻りに不平を鳴らしさる末、傍に有り合ふ枕、燭臺を把て亂暴を始め襖を破損し同行の一人と共に二階を下り枕、燭臺を携へたる儘同家を立出でゝ又も亂暴をなさん勢あれば小川屋にては直ちに戸口を締切りたる折柄大嶋屋に居たる三人の者も出で來